

①この一年間で新しくできるようになったこと、始めたこと

- ・学校の音楽部にはいりました。(Iさん 10才)
- ・難しい本をよめるようになった。(Mくん 14才)
- ・車の運転。(Tくん 18才)
- ・亡くなった両親の出身校で、父と母が学生時代に見ていた景色香りを感しながらひとり暮しをしていること。(Mくん 20才)
- ・始めたことは特になのですが、将来の事をいろいろと考えるようになりました。(Hくん 16才)
- ・三年生で習ったローマ字を全部書けるようになりました。(Aくん 9才)

②この一年間で一番嬉しかったこと

- ・「自分から変わることを」を選択して変わったこと。(Aさん 11才)
- ・先生から制作したゲームが高評価されたこと。(Mくん 19才)
- ・吹奏楽部での後輩が秋のコンクールで金賞を取った事。(Tさん 15才)
- ・お客様の笑顔、おじさんの笑顔。(Aくん 20才)
- ・生徒会執行部で副会長に当選した。現在、学校の代表として様々な活動に取り組んでいます。(Aさん 13才)

③部活動や趣味、勉強など今一番頑張っていること

- ・将棋をジジに教えてもらいながら特訓しています。目標はいつかジジに勝ちたいです。(Mくん 10才)
- ・進学したので勉強を頑張っています。(Tくん 17才)
- ・部活のダンスを頑張っています。(Tさん 17才)
- ・茶道部の部長として最後の文化祭に向けて日々練習に励んでいます。(Yさん 17才)

④応援してくれる人たちに伝えたいこと

- ・たくさんの方々に支援していただきとても心強いです。ありがとうございます。(Iさん 14才)
- ・災害にあった私達のような人々はみなさんの応援でこそ頑張っている事ができるのだと思います。ですから私たちは今を精一杯生きて行こうと思います。(Mさん 14才)
- ・応援している人がたくさんいるので、その分頑張ろう!と思います。好きなことを学び、好きなことができているのは、応援してくれている人がいるからです。学んだことを忘れずに、1日でも早く社会に出て、応援してくれた人々に笑顔でお返ししていきます。1日1日を大切に頑張ります。ありがとうございます。(Cさん 19才)



皆様の温かいご支援のおかげで、第5期目となる平成27年度の「東日本震災・津波 生活・教育支援金」を無事にお渡しすることができました。今回は64名の子供たちに1人当たり15万円を御渡しさせていただきました。そのうちの3名は本来、給付終了となる20才の学生の方々です。JETOみやぎの支援は0才から19才までの20年間というのが基本ではございますが、その期間を過ぎても「要望があれば大学を卒業するまで支援していこう」という声が多く上がったため、JETOみやぎ理事会にて支援の延長を決定させていただきました。昨今、奨学金返済の問題が多くある中、少しでも学生の皆さんの経済的援助ができるものではないかと考えております。また、「まけないタオルプロジェクト」様からのご寄付を一人当たり8万円給付(19才以下61名)させていただきました。株式会社ヌマザワ様から頂いた図書カード120万円を一人当たり2万円お渡し(20才含む65名)させていただきました。子供たちが成人を迎えるまで息の長い支援を続けてまいります。そのために皆様からの温かい支援とご協力を宜しくお願いいたします。



認定特定非営利活動法人JETOみやぎ
理事長 菅原裕典

2015年下期の活動トピックス

JETOみやぎ理事会を開催しました

『伝えたい! 頑張る宮城のNPO』に参加しました

平成28年3月17日(木)、今期第2回目のJETOみやぎ理事会を開催いたしました。今回は、取次報告と、20歳を迎える方々にお贈りする記念品について、また来年度の生活・教育支援金についても、協議いたしました。



平成28年3月27日(日)仙台駅西口にあるアール2階アトリウムを会場に「伝えたい! 頑張る宮城のNPO」が開催されました。宮城県内の認定NPO法人19団体(仮認定NPO法人を含む)が一堂に会して活動を紹介する場であり、認定NPO法人について理解を深めていただく絶好の機会となりました。「NPOについてもっと知りたい」「NPOに関する情報はどこで入手できるの」「信頼できるNPOをどうやって探したいの」とたくさんの質問をいただきました。JETOみやぎでもブースの展示やステージ発表をさせていただきお時間をいただき、多くの皆様の前で「東日本大震災から5年目を迎えて~これからのJETOみやぎの役割」をお話させていただきました。



ご支援のお願い

JETOみやぎの活動は、すべて皆さまからのご寄付・賛助によって成り立っています。活動の推進を円滑に行い、目的を達成するためにも、JETOみやぎの活動にご理解とご賛同をいただき、活動への末永いご支援をお願いします。

ご寄付(税法上「特定寄付金」扱い)

ご寄附・・・・・・・・・・1口1,000円より
JETOみやぎより資料(支援グッズ等)を郵送いたします。

※JETOみやぎは、仙台市より「認定NPO法人」としての認定を受けています。これにより、JETOみやぎにご寄附をいただいた場合、寄付金控除等の税の優遇措置を受けることができます。なお、税制上の優遇措置を受けるには、JETOみやぎ発行の寄付金受領証明書が必要です。

賛助会員

個人・・・・・・・・・・年・1口10,000円より
法人・・・・・・・・・・年・1口10,000円より 1口よりご賛助頂けます。

● 賛助会員について

JETOみやぎの趣旨にご賛同いただき、震災孤児への継続的な長期支援を頂ける個人や法人の方が対象です。賛助会員様には事務局が発行するニュースレターの郵送(年2回発行)や総会のご案内を予定しています。

BANK お振込先

七十七銀行 卸町支店
普通口座 5786851
NPO法人 JETOみやぎ
(エヌピーオー・ホウジンジェットミヤギ)
※お振込手数料はご負担ください

※寄附金受領証明書をご郵送いたします。
銀行よりお振込みいただいた際は、恐れ入りますがJETOみやぎへお電話でご住所をお知らせいただけますようお願いいたします。

《郵便振替口座》

特定非営利活動法人ジェットみやぎ
02250-8-135678

※寄附金受領証明書をご郵送いたします。



お問い合わせ
電話: 022-782-0303
メール: info@jeto-miyagi.org
http://jeto-miyagi.org

JETOみやぎ事務局より...

今年は震災から5年という区切りの年でもありましたが、皆様のご支援のおかげを持ちまして第5期を無事に終えることができました。ありがとうございます。しかし、まだ支援対象に6歳の子供がおります。これから先も息の長い支援が必要となっております。JETOみやぎはこれからも子供たちにご支援いただいている皆様にお応えできるよう事務局運営を目指してまいります。また、訪問ヒアリングにも力を入れ「顔の見える支援」をモットーに、保護者の高齢化を含め、様々な案件に個別に対応できる体制を取りながら、しっかりとした運営・支援をしてまいります。今後ともJETOみやぎを宜しく願っています。

「まけないタオルプロジェクト」様からの支援金を給付しました

震災から5年が経ち、被災地の関心が風化しつつある中で「孤児の皆さんへお渡ししてほしい」と500万円のご寄付をいただきました。3月17日に開催したJETOみやぎ理事会に於いて、今回いただいた図書カードを20才を含む65名の子供達に一人あたり2万円分をお渡しさせていただきましたことを決定し、お渡しいたしました。



「株式会社ヌマザワ」様からの図書カードを給付しました

株式会社ヌマザワ様は創業から120周年を迎え、子供達のために役立ててほしいということで120万円分の図書カードをいただきました。3月17日に開催したJETOみやぎ理事会に於いて、今回いただいた図書カードを20才を含む65名の子供達に一人あたり2万円分をお渡しさせていただきましたことを決定し、お渡しいたしました。



成人を迎えた皆さんへ記念品をお贈りしました

JETOみやぎでは子供達が成人するまで支援活動を行っております。今年度、成人を迎えた4名の方々への門出をお祝いさせていただきました。ひとりの大人として人生という旅に出発する方々へ記念品(印鑑付きボールペン)をお贈りいたしました。





皆様からのご寄付・ご支援

平成27年度下期(11月1日～4月30日)にご支援頂いたチャリティー活動・ご寄付の一部をご紹介します。
この他のチャリティー報告詳細はJETOみやぎのホームページをご参照下さい。

12月4日 あすと長町仮設住宅自治会様

あすと長町仮設住宅自治会が代表をなさっている飯塚様がJETOみやぎにお越しくださいました。あすと長町仮設住宅は震災から5年となる2016年3月末までで閉鎖する予定となっており、自治会も解散する運びとなりました。自治会の運営資金は日本のみならず世界中の方や多くの企業からのご寄付等でまかなって来たため、解散時に余ったお金は誰から見ても透明性が高く公平であるべきことから、自治会の皆様で話し合っておき、JETOみやぎにご寄付いただくこととなったそうです。JETOみやぎの活動の説明時には、大変熱心に耳を傾けておられました。「こういった復興を通して、支援している子供達のひとりでも、地元宮城や被災地の復興に役立ちたいという大人に成長していただければありがたい」とおっしゃっていらっしゃいました。



12月7日 ブティックS-TWO様

12月3日(木)ブティックS-TWO様の12回目のチャリティーパーティーが勝山館にて開催されました。当日参加出来なお客様からは寄付をお預かりしたりと嬉しいお心遣いもいただきました。前日からの準備、本番とスタッフの方々大変お疲れ様でした。



12月24日 橘企画様

11月15日(日)仙台市青葉区一番町にある電力ホールにて「中村文昭 講演会2015」が開催されました。毎年恒例で開催されており、今年は10回目の記念となる講演会となりました。電力ホールは満席で大盛況での講演会となりました。当日の収益の一部を主催である「橘企画」エバンジェリストの橘雅昭様より寄付いただきました。



12月24日 株式会社アール・フランセ様

アール・フランセ様では、タイロイネットホテル仙台様・ホテルモントレ仙台様・三井ガーデンホテル仙台様・仙台フロンティアホテル様と連携し震災復興の支援企画として「絆のツリープロジェクト」を定期的に開催しております。毎年ホテルのカラーに合わせて1つ1つのオーナメントに想いを込めて仕上げています。そして、ツリーを見た皆さんの宿泊者の方から募金を頂きました。このプロジェクトは今年で5度目の冬を迎え新たなホテル様にもご賛同いただき、合わせて市内4つのホテルでの開催となりました。株式会社アール・フランセ 代表取締役 菅原 芳則様にお越しいただき「絆のツリープロジェクト」で集まった募金の全額をJETOみやぎへご寄付いただきました。



1月22日 セガフレード・ザネッティ・エスプレッソ仙台中央通り店様

仙台的マールロードおおまち商店街にある「セガフレード・ザネッティ・エスプレッソ 仙台中央通り店」様は、本場イタリア仕込みの本格的エスプレッソを始め、サンドイッチ、ドルチェ、アルコールまで豊富なメニューがリーズナブルな価格で楽しめるイタリアン・バーです。店舗レジ脇にJETOみやぎの募金箱を設置していただき、お客様からチャリティーを募って頂いております。間もなく震災から5年が経とうとしておりますが、まだまだお客様の関心は高く、今回集まったチャリティーをご寄付いただきました。



2月17日 宮崎県洞宗青年会様

宮崎県より、宮崎県洞宗青年会の皆様にお越しくださいました。理事長の菅原よりスライドを使用してこれまでのJETOみやぎの役割や、活動内容・今後の取り組みについて講演させていただきました。その中で贈呈式を執り行わせていただきました。講演では皆様、とても熱心に聞いておられ多くの質問もいただきました。この度は遠路お越しいただきまして、ありがとうございました。



2月18日 仙台北法人会様

仙台北法人会様より、『震災孤児への街頭募金活動』として、2015年8月22日(土)に「藤崎本館前」と「仙台三越本館前」で募金活動を行い集まったチャリティーをご寄付いただきました。この募金活動は今年度で4年目となり「東日本大震災により両親を亡くした震災孤児が成人するまでの生活・教育支援に協力する・街頭募金をすることにより市民に震災孤児がいることを再認識してもらう」の2つを目的とし、社会貢献委員会の企画・運営での開催されております。



3月5日 絆プロジェクトほほえみ様

仙台市山田市民センターにおいて、地域ボランティア「絆プロジェクトほほえみ」様が主催する「絆・絆カフェ交流会」が開催され参加してまいりました。絆プロジェクト・ほほえみ様は地域の皆さんが中心となり、震災復興支援しよう2012年から活動を行っており、いつもJETOみやぎにご支援頂いております。JETOみやぎの活動報告の際には、みなさん大変熱心に耳を傾けておられました。



3月10日 単電気株式会社様

単電気株式会社(仙台市若林区)の代表取締役社長平間修一様にご来訪いただき、寄付金の贈呈式を執り行いました。単電気様からはJETOみやぎ正会員としてこれまでたくさんのご支援をいただいております。



3月10日 仙台キワニスクラブ様

仙台国際ホテルにて、仙台キワニスクラブ様の第960回例会が開催され、JETOみやぎ理事長 菅原裕典による講演「東日本大震災から5年目を迎えて、これからの「JETOみやぎ」の役割」のお話をさせていただきました。皆様熱心に聞いてくださいました。



3月10日 宮城教区浄土宗青年会様

宮城教区浄土宗青年会の皆様にお越しくださいました。青年会の皆様17名で常念寺様を出発し、仙台市内3か所を託鉢(たくはつ)を行い、その託鉢で集めたご浄財を、ぜひ震災孤児の支援に役立ててほしいとのことで、JETOみやぎにご寄付いただきました。



3月11日 株式会社ヌマザワ様

震災から5年となる3月11日(金)、山形県新庄市にある新庄市民プラザにて開催された「第7回 震災孤児支援コンサート 二胡 姜晓艳 in 新庄市」に参加してまいりました。コンサートの主催は山形形曹洞宗 青年会 最上支部様で、新庄市の髯儀社株式会社ヌマザワ様の協賛で開催されました。コンサートに先立ち、開会者よりチャリティーの趣旨の説明とJETOみやぎの紹介があり、震災で亡くなられた方のご冥福をお祈りして、山形曹洞宗 青年会 最上支部の皆様にご供養をいただきました。その後、二胡奏者の「姜晓艳(ジャン ショウイェン)」さんによる演奏が始まりました。二胡のひびやかな音色は、時に中国の壮大な風景を思わせ、また時に私たちに日本の懐かしい景色を浮かび上げさせ、とても素晴らしいコンサートでした。



3月14日 まけない! タオルプロジェクト様

東日本大震災支援を目的にスタートした「まけない! タオルプロジェクト」。「タオルはちょっと短めの50cm。だから・・・首にも巻けない、まけない、私はまけない!」をキャッチフレーズに、ご支援いただいた方にタオルをお送りしています。タオルは、これまでに85,000枚を制作・配布され、様々な団体を支援しております。また、当団体でもお世話になっております、シンガーソングライターの「やなせなな」さんが「まけない! タオルプロジェクト」のテーマソング「まけないタオル」を歌っています。今回、いろいろなご縁で、ご支援をいただくことになり、まけない! タオルプロジェクト代表の松林寺ご住職 三部義道様より直接目録をいただきました。



3月19日 桜応援団様

3月12日(土) 桜応援団様にて「東日本大震災被災者支援募金活動」がR有楽町駅前広場で行われ、集まったご浄財は岩手県の大槌町とJETOみやぎにご寄付いただきました。



3月22日 有限会社瑞江セレモ様

2016年3月11日(金)有限会社 瑞江セレモ様(東京都江戸川区)にて、東日本大震災四周年 慰霊祭が執り行われました。献花台では、道行く方々に献花をして頂き午後2時46分には、ご参加いただいたみなさまとスタッフ一同で被災地に向けた黙とうを捧げました。慰霊祭ではJETOみやぎのコーナーも設置され、チャリティーをいただきました。



3月23日 チャリティー音楽祭様

3月12日(土) 鹿兒島県伊佐市にある大口ふれあいセンターを会場にチャリティー音楽祭が開催されました。これは、毎年開催されている大口ロータリークラブと国際ソロPチミスと大口伊佐の共催での開催となり、今年は大口ロータリークラブ創立40周年記念祭の一環として開催されました。当日は盛大な式典のあとに、小中高のバンドや合唱などチャリティー音楽祭が行われました。また「今後も東日本大震災への想いを常に忘れずチャリティー音楽祭を続けてまいります」と温かいお言葉をいただきました。



3月28日 3.11を語りつぐ会様

3.11を語りつぐ会様にて、3.11メモリアル関連企画内のワークショップで、雄勝石を使っているキーホルダーづくりが開催され、その収益金の中からご寄付をいただきました。



3月31日 BONDS-Save Our NIPPON Project- 様

『BONDS-Save Our NIPPON Project-』代表の中濱様がJETOみやぎ事務局にお越しになり、東日本大震災復興チャリティーイベントでの収益金をご寄付いただきました。『BONDS』様は「都内でイベントを行った際の収益金を自分達で直接被災地に行き寄付をし、全ての過程をイベントに来ていただいた方々にSNSを通して配信することにより収益額や収益金の使い道を明確にする」という信念の元に活動されております。中濱様には昨年の4月にもお越しいただいており、継続的にJETOみやぎを支援していただいております。



4月5日 株式会社久保田ホールディングス様

株式会社久保田ホールディングス様(本社:仙台市青葉区)よりJETOみやぎに寄付をいただき、仙台キリンパレージサービス株式会社様主催のもとに贈呈式を行いました。久保田ホールディングス様は、仙台キリンパレージサービス様がご提案されているJETOみやぎチャリティー自動販売機をご採用いただき、その売上金からご寄付いただきました。贈呈式には、株式会社久保田ホールディングス 代表取締役社長久保田様 仙台キリンパレージサービス株式会社 代表取締役社長 門間様が会し、久保田社長より寄付金を贈呈いただきました。



4月8日 みやぎ生協・株式会社サイコー様

みやぎ生協様の34店舗に設置してある「古紙リサイクルポイントシステム」にて2016年3月1日～3月11日までに集まった古紙1kgあたり2円(みやぎ生協様1円/kg サイコー様1円/kg)をJETOみやぎへ寄付し、震災孤児への支援に繋げようというイベントが開催されました。震災から5年が経つ今、「リサイクルで復興支援」として、被災地の復興にはここからの更なる継続した支援が必要になるとの想いから、今回のイベントとまたご寄付に繋がりました。当日は、みやぎ生協様、株式会社サイコー様にご来訪いただき、贈呈式を執り行わせていただきました。



4月11日 山形曹洞宗青年会 最上支部様

山形曹洞宗青年会 最上支部の皆様にお越しくださいました。震災から5年目となる3月11日(金)、山形県新庄市にある新庄市民プラザにて開催された、山形曹洞宗青年会 最上支部様主催の「第7回 震災孤児支援コンサート 二胡 姜晓艳 in 新庄市」の収益金を、ぜひ震災孤児の支援に役立ててほしいとのことで、JETOみやぎにご寄付いただきました。4月に桜満開となった仙台でしたが、当日はあいにくの天気で雪模様となる寒い中、わざわざ仙台までお越し頂き、感謝申し上げます。



4月15日 株式会社オレンジライフ様

株式会社オレンジライフ様(和歌山県)にて「東日本大震災 あの日を忘れない〜残された子どもたちに「絆」を繋ぐ〜PART5」が開催されました。このイベントは毎年開催されており、今年で第五回目の開催となります。ボランティアキッズが屋台村を運営し、お客様をおもてなしました。また、「きぼうの桜」をさかせようではたくさんメッセージをいただきました。



4月20日 流泉寺様

東京都立川市にある流泉寺ご住職 伊藤正明様よりチャリティーをいただきました。JETOみやぎには以前よりご支援をいただいております。同封のお手紙には「震災被害の子供さんたちのお役に立ててください」との温かいメッセージをいただきました。

